

明けまして、おめでとうございます。今年も、どうぞ宜しくお願いします。この年末・年始、皆様は如何お過ごしだったでしょうか。私は昨年同様ドバイで元旦を迎えましたが、なんと言っても印象深かったのは、大晦日に世界中を駆け巡った除夜の鐘の音、ゴーン(イズゴーン)には驚かされました。

そして、1週間後、イランからのミサイル攻撃。多くの皆様も大変だったとお聞きしています。イランがミサイルを撃ち込んだ、ちょうどその日の早朝、山東参議院議長が世耕前大臣等とともにドバイを来訪。一時、緊張感が大きく走りました。心臓に悪い。そして今度は過去にない規模の大雨。そのような中でブージュ・カリファの最上階の屋外ベランダは、驚くほど寒く、ドバイに来て初めてエアコン以外で寒いと感じました。ドバイが寒い所であるとのメッセージになってしまったか心配なほどです。そして総理のUAEご訪問。

バタバタして始まった今年、2020年は4年に一度の閏年。24時間得をしたのか、あるいは1日余計に働かなければならなくなったのか。この時間感覚の国民性の違いについて、この正月、考えさせられた。

というのも、昨年、ハムダン皇太子や、インドの大富豪の娘さんの結婚式に招待された。そこで、日本人とは、異なる時間に対する感覚を改めて認識させられたからです。

エミラティの結婚式では、招待状に記載された時刻というのは目安のようなもので、いわゆるインシャ・アッラーで、皆がそれぞれ自身で何となく目安と思う時に行く。

インドの結婚式では、そもそも指定された時間に行っても、客はおろか、当事者家族側の人もない。未だ会場設営も終わっておらず、場所を間違えたものと思いました。また、最後の日の行事、17:30と記載された式次第が19:00を過ぎても始まらない。夜中になって行事と並行して、知らない間に別室でビュッフェが始まっている。人々は、それぞれ、自分のしたい時間に踊る、飲む、食べる、喋る、を好きな順番で楽しんでいる。

翻って、例えば本日、12時開始の中で、皆さんには、11:50にはいらっしやって頂きました。この時間感覚の違いは、どのような背景があるのか。

まず、出てくる答えの一つが、monochronismとpolychronismと呼ばれる、時間軸を一本とする考え方と、何本もあるとする考え方です。

時間軸が一本であると、時間毎に一つずつのスケジュールで進む。時間は有限で、人々の共有物。

一方、時間軸が何本もあると言う考え方は、同時に幾つものスケジュールが進んでおり、時間時刻より、その時点で携わっている仕事の完遂が重要。

flexibleと言って良いのか、自ずと全てのスケジュールは遅れる。

その上で、人間は、自身の行動並びに思考において、時間軸・空間軸・感覚軸のいずれかを無意識に基準にしているということでした。

時間軸を優先するのは、目に見える明確なこと、スケジュールを基準にする人で、西洋人での多くがそうです。

空間軸を優先するのは、自分の欲求に素直な人で、アラブ人やインド人、中南米の人がそうです。

感覚軸を優先するのは、日本人で、目に見えない調和というものを、大切にすること

身近な例を挙げると料理

西洋料理：コース料理（一つずつ）軸が一本。コースに従って、食べる。

アラブ・インド料理：ビュッフェ（ビュッフェ）軸が多数。好きなものを食べる。

日本料理：幕の内弁当、御膳懐石、軸が曖昧。季節や食材によって、様々に変わる。

英語は語順の言葉と言われる。アラビア語：主語が無くても動詞の格変化で対応。Be動詞がない。自分の表現したいことが大事。日本語：語順は、その使用状況によって、特に助詞の使い方で様々に変えられる。

こう言った感覚はどういうことかということ、時は金なりが西洋の諺：Time is moneyがあるように、時間軸を思考基準にする西洋人は、人が、スケジュールを含め全てをコントロールする。人間が決めた時間軸に従い、世の中が動く。

一方でヒンドゥー教を基盤にしたインド哲学では「輪廻転生」。何度でも魂は生まれ変わるので、時間は無限。したいことをすべし。

イスラム教では、未来は、神のみぞ知る。時を人がコントロールするのは傲慢。全ての予定は、時間が決めるのではなく、神が決める。一方で、時間におおらかな彼らも、お祈りの時間だけは一分単位で守る。神が決めたから。

日本人は和を持って尊しですね。

ということで、そもそもインド人や、アラブ人に対して、時間を守ることを期待するのは、野暮なこと。

こういう時間軸の違いは、西洋人も深く困惑しているようで、アメリカ人が書いた時間感覚に関する本を読むと、そもそも時間を守る国民は英、独、米、北欧、日だけで、スケジュールを守る民族は、世界では遥かに少ない。

従って、日本人は、時間におおらかなアラブ人やインド人たちの中で、一部西洋人によって決められた時間軸に振り回されているということでしょうか。日本人は大変です。

かつてシーザー「人間は皆、自分の見たいものしか見ようとしなさい」と言葉を残しましたが、日本人は、見たくない周りのものばかり見ている。

そういう自分自身が、まさに日本的に、感覚軸を基準に周りのものを注視する思考していると悟った正月でした。

このように苦勞する日本人だからこそ、団結し協力することが重要です。本日も皆さんには11時50分に、しっかりお越しいただきましたが、日本人ビジネスコミュニティが協力する場として、JBCは非常に大事。総領事館も出来得る限りの支援を惜しみません。今日は、和牛、寿司、天婦羅をふんだんに用意したビュッフェ料理です。皆様、アラブ人になった気分、好きなものを好きなタイミングで、好きな順番で楽しんでいただければと思います。

それでは、今年もよろしく申し上げます。